



# ちばりは ニュース

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

2016年11月 発行 第26号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005  
 千葉市緑区誉田町1-45-2  
 TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857  
 ホームページアドレス  
<http://www.chiba-reha.jp/>

## 放課後等デイサービス「えぶりクラブ」スタート！

### 皆様の声から生まれた新たなサービス

センターでは平成24年4月に児童発達支援センターを開設し、各種通所事業を実施しています。「どんなに障害が重くても、医療ケアが濃厚でも、当たり前前の療育を提供したい」を合言葉に「えぶりキッズ」では、地域の通所施設に十分通えない未就学の障害児等を対象に遊びを通じた療育を展開しています。また「えぶり」では、成人を対象に仲間と共に潤いのある生活を送ることができるよう、健康管理とともに工夫を凝らして様々な日中活動を提供しています。これらの事業を実施してみると、この2つのサービスの狭間である、学校に通うお子さんの保護者から、「放課後通える場を提供してほしい」という声が聞かれるようになりました。千葉県内には400以上の放課後等デイサービス事業所が登録されていますが、濃厚な医療ケアの必要な重症児に対応できる事業所はほとんどないのが現状です。センター隣接の袖ヶ浦特別支援学校に通学するお子



さんの保護者を対象にアンケートを実施したところ、気管切開や、酸素、呼吸器を使用するお子さんは、いずれもサービスを利用しておらず、学校と家との行き来だけで社会参加が広がらないという声が聞かれました。このような声を受けて、センターでは関係各所と協議を重ね、放課後等デイサービス「えぶりクラブ」を開設し、今年の8月から正式にサービスを開始しました！  
 （P2へつづく）

### センターの小児部門

#### 通所

**えぶり**  
生活介護  
医療ケアの濃厚な重症心身障害者

**New えぶりクラブ**  
放課後等デイサービス  
医療ケアの濃厚な重症心身障害児  
医療的ケア児

**えぶりキッズ**  
医療型児童発達支援  
医療ケアの濃厚な重症心身障害児  
児童発達支援  
医療的ケア児

**愛育園**  
医療型障害児入所施設  
療養介護 **入所**  
重症心身障害児者  
肢体不自由児  
医療的ケア児  
高次脳機能障害児等

相談支援事業  
保育所等  
訪問支援事業

外 来

## 安心できる憩いの場を目指して

「えぶりクラブ」では、特別支援学校に通学しており、医療ケアが濃厚等の理由で地域の放課後等デイサービスでの受け入れの難しいお子さんを対象に、「放課後ゆったりとリラックスできる時間や空間を提供する」「余暇活動を提供し、仲間とともに楽しい時間を過ごす」「体調をチェックし、十分な健康管理を行う」「濃厚な医療的ケアまた重度の障害への保護者の介護負担を軽減する」ことを目的にサービスを提供しています。

### えぶりクラブの1日

14:30	学校からの引き渡し
14:45	登園・健康チェック
15:00	水分補給・おやつ
15:15	活動
16:30	帰園準備
16:45	帰園

えぶりクラブの定員は1日5名で、月～金曜日の14:30～16:45にえぶりキッズ活動室にて実施しています。送迎は看護師と保育士、児童指導員が徒歩にて袖ヶ浦特別支援学校まで迎えに行き、学校の看護師や担任の先生から引き渡しを行います。登園後、健康チェックを行った後に、その日の活動を行います。活動の内容は、音楽療法・マッサージ・スヌーズレン・学校の宿題・ミュージッククッション・足浴・朗読等多岐に渡り、楽しい空間づくりに取り組んでいます。



このサービスを利用しているのは、呼吸器や酸素を使用していたり、気管切開をしてたんの吸引が必要な重症心身障害のお子さんや、運動機能障害は無いものの医療ケアの必要ないいわゆる「医療的ケア児」と言われるお子さんです。ご家族を介さず学校職員から直接職員がお子さんをお預かりしますので、安心して託せるとご家族に思っただけのまで、ご家族付き添いで十分に時間をかけて見極めを行っています。

11月1日時点で、25名の方に登録していただいています。皆様の思いを込めてようやく開設できた重症児のための放課後等デイサービスです。焦らず、じっくりと、何より安全で安心できる憩いの場となるよう、事業を展開してまいります。袖ヶ浦特別支援学校からえぶりクラブにやってくる子どもたちを見かけたら、ぜひ声をかけてください。



### えぶりクラブ開設記念 「クラブtheフェスティバル」

9月7日には、えぶりクラブ開設を祝う「クラブtheフェスティバル」を開催しました。お子さんやご家族、学校の先生やスタッフが集い、和太鼓やバンド演奏のステージで楽しい時間を過ごしました。



## 第16回千葉リハセンター公開講座

9月22日（木）、第16回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座を開催しました。今年は「**動いて実感！！感じて納得！！リハビリテーション**」をテーマに、センターの日頃の取り組みを様々な形でご紹介しました。大ホールでは、講演によりセンターの実施する様々な事業をご紹介し、展示ブースでは各部署のポスター展示が並び、体験コーナーでは義足やロボティクスリハ、高齢者の疑似体験を参加者の方に行っていただきました。また、センター見学ツアーとして、リハビリ室、福祉用具展示室、三次元動作解析室やドライビングシミュレーターなど、普段はなかなか見られないセンターならではの施設をお見せするイベントも実施しました。当日は強い雨が降る中でしたが、125人の方にご来場いただきました。



大好評のセンター見学ツアー



体験・展示ブースも盛りだくさん！  
 (上) 高齢者体験  
 (右上) スヌースレン  
 (右) 義足体験

## 関節ワーキンググループ職員による出前講座を開催しました



10月6日（木）、ゆみーる鎌取ショッピングセンターにて職員による出前講座を開催しました。この催しはセンターの関節ワーキンググループと千葉市あんしんケアセンター鎌取の協働により、センター初の試みとしてショッピングセンター4階のイベントスペースをお借りして実施したものです。当日は「**どうにかしよう！その膝の痛み 日常生活の注意点から人工関節治療まで**」と題して、センターの様々な職種の職員がそれぞれの専門分野についてお話ししました。

付岡医師からは、クイズを交えながら膝の痛みの原因となる変形性膝関節症やその対処法についてわかりやすく解説を行いました。このほか、看護師からは膝に負担をかけない日常生活のアドバイスや、管理栄養士から体重をコントロールする為の食生活について説明し、最後は理学療法士がボールを使った運動法を来場者の方と一緒に実践しました。

平日昼間の開催ながら、80席ほどの座席はほぼ満席となり、イベント終了後の相談時間には来場者の方が医師をはじめとする職員に熱心に質問をする姿も見られました。

第12回高次脳機能障害リハビリテーション  
千葉懇話会（ご報告）

9月21日(水)、千葉市民会館にて第12回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会を開催いたしました。

今回は、札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座教授の石合純夫先生から、「高次脳機能障害の本質を見極め社会復帰を支援する」と題して、①行政的障害名としての高次脳機能障害の概説、②症例提示を含めた検査・評価の読み解き、③様々な診断書への対応などのお話をいただきました。

医療・福祉・就労の立場で当事者や家族の支援に関わる方々、中でもリハ職の方々に多数参加いただき、会場は盛況となりました。今後も皆様のアンケートなどを参考に様々な角度からテーマを取り上げてまいります。



センター案内図



イベント開催のお知らせ

第10回  
千葉県地域リハビリテーションフォーラム

日時：1月14日(土) 12:30~16:30  
場所：千葉市文化センターアートホール

特別講演

地域リハビリテーションのこれから(仮)  
(講師：小倉リハビリテーション病院 名誉院長 浜村 明德氏)

シンポジウム 地域リハ活動支援事業  
ポスターセッション 広域支援センターの活動

※同日午前中に「熊本地震での活動報告」を中心に第2回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会を開催する予定です。

第12回  
高次脳機能障害リハビリテーション講習会  
「これからの高次脳機能障害支援とは」

日時：1月28日(土) 12:30~16:00  
場所：千葉市文化センターアートホール

講演 脳画像でみる高次脳機能障害の診断と治療効果判定  
(講師：柏駅前なかやまメンタルクリニック 高次脳外来医師 榎間 剛氏)

シンポジウム  
生活を支えるこれからの高次脳機能障害支援とは

車のご利用

- 千葉東金道路 大宮インターから約10分
- 京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分
- JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分(土曜・休日のみ)

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- センター送迎バス着発場所について  
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近  
(専用のバス停はございません)  
センター発・・・センター正面玄関前
- 車椅子ご利用の乗車定員について  
中型バス(黄色)・・・2名  
マイクロバス(水色)・・・3名
- 日曜・休日は運休となります。
- 道路混雑等により遅延する場合があります。